

平成 29 年 1 月 1 日
一般財団法人東京マラソン財団



新コースにおける警備体制の強化策について ～ SAFE&SECURE 始動 ～

一般財団法人東京マラソン財団では、2013 年 4 月、米国ボストンマラソンの爆破テロ事件以来、不測の事態に備えた警備対策を実施してまいりました。このたび 2017 年 2 月 26 日（日）に新コースで開催する「東京マラソン 2017」における強化策を以下のように実施します。

当財団では、2014 大会で実施した警備救護強化プロジェクトをベースにし、「SAFE & SECURE」と称し、だれもが安心して参加出来る『世界一安全・安心なマラソン大会』を目指した運営に努めています。

○主な強化策

【未然防止に向けた広報・意識啓発】

- ① 東京マラソンに参加する方々に「安全・安心な大会」へ導いていただく活動へのご協力をお願いし、リストバンド装着や大会ウェブサイトなどによる啓発活動を行う。



- ② 警視庁、民間関係者、大会関係者による有事に即応できるための実践的なテロ対処訓練の実施。
(実施日) 平成 29 年 1 月 29 日（日）※フィニッシュエリアにて実施予定

【警備・セキュリティ等強化対策】

- ① 新コース・フィニッシュエリアを中心とした警備員、係員の増強
- ② ウェアラブルカメラ携行警備員を倍増
- ③ 監視カメラの増設、映像による画像解析（不審者、不審物、混雑状況などの分析）
- ④ 情報の集中管理、危機管理センターの設置
- ⑤ 飲料検査機器の導入（東京マラソン 2017 特別観戦エリア招待者席入場時）
- ⑥ セキュリティリストバンドによる参加資格認証（セキュリティ QR コード付き）の導入



※2016 大会に引き続き、金属探知機による手荷物検査、夜間警備巡回、上空からの監視カメラ（気球）、ドローン監視システムの設置、地域住民（TEAM SAFETY）による巡回、特殊緊急車両を配備。

○危機管理対策

- ① ランナー、運営スタッフ、ボランティアリーダーなどを対象とした災害・事件等の発生時における安全・安心確認システムや医療救護関係者向けのアプリの導入
- ② 緊急車両の通行、横断、災害、事件、事故等の際のアナウンス用として緊急時案内スピーカー（音声）をコース上に設置